



大野一心

NO. 39

令和5年12月5日（火） 文責：校長 諸熊 修一

第63回佐世保市学校保健研究大会より

12月2日（土）14：00から佐世保市学校保健研究大会が開催されました。毎年この時期に児童生徒の健康教育の推進をテーマに開催されている大会です。

今回の大会におけるシンポジウム（注）では、佐世保市学校保健会養護教諭部会、保健主事部会代表の方々がそれぞれの立場から学校現場において健康教育推進のために実践されている取組について発表されました。そのシンポジストの一人として本校の百合永養護教諭が登壇しました。

最初は緊張した面持ちだったのですが、本校での実践も交えながら落ち着いた口調で立派に発表されました。会場からの質問に対しても、日頃の自分の思いや考えを丁寧に話されて、とても頼もしく感じました。担任と子どもとの関係が縦の関係、いわば「親子の関係」であるとすれば、養護教諭と子どもとの関係は斜めの関係、いわば「叔母の関係」と言えるのではないかと思います。叔母だからこそ見える部分、叔母だからこそ言える部分はたくさんあります。その斜めの関係を大いに活用しながら、今後とも引き続き保健室で子どもたちを温かく迎えてほしいと思いました。

（注）シンポジウム：テーマに基づいて複数の人が意見を述べ、参加者と質疑応答を行う形式の討論会のこと



【校長のひとりごと】

私は花粉症です。季節の変わり目などは鼻水やくしゃみが止まりません。以前は春先だけだったのですが、年齢を重ねるごとにその期間が長くなってきました。今もくしゃみや咳が出てとても困っています。インフルエンザが流行しているので、心の中で「インフルやコロナではありませんので…」と釈明しながら周囲の人たちに対して、とても申し訳なく思っています。

家の中でもくしゃみが出るので「猫アレルギーかな？」と妻に言うと、「あなたは、私が近づくと決まってくしゃみをするでしょう。妻アレルギーではないですか。」と言われてしまいました。花粉症は、花粉の中に含まれる花粉症の原因物質などが身体の中に溜まっていき、許容量を超えると発症してしまうとも言われています。私と妻は結婚して30年を過ぎました。この30数年の年月で私の中に妻を恐れる何かが溜まっていき発症してしまったのでしょうか（笑）決してそんなことはないと思っているのですが……。どうでもいいひとりごとでした。